

令和 7 年度第 2 回川越市医療問題協議会の意見

議題	意見内容	市の見解
1. 第四次川越市保健医療計画素案について	歯科口腔保健の充実の箇所について。現状と課題の部分には口腔機能の維持という文言が入っているので、取組み施策の部分にも、口腔機能の維持を推進し、オーラルフレイルの予防に努めるといった文章があると良いと思います。	「2-3-3歯科口腔保健の充実」の取組施策の「1 歯科口腔保健の普及啓発」に、『口腔機能の維持を推進し、オーラルフレイルの予防に努めます。』を追記します。
	プレコンセプションケアについては行政の方々が注目していただいていること、嬉しく思いました。 少子化である現在、女性の社会進出や活躍を尊重しながら、女性が妊娠したいときに妊娠できる健康状態を維持することは非常に重要であると考えます。それを思春期から支援することが、日本がかかえる問題に対する根本的な対策であると考えます。それがプレコンセプションケアであると考えます。 思春期からの性教育や月経困難症に対する積極的な治療、カップルに対する関わり、性病の予防も含まれます。 21歳の年に郵送される子宮頸がんの無料受診券も乳がん検診クーポン、HPVワクチンもプレコンセプションケアに該当すると思います。ただし、がん検診に対しては、受診率が低いかなと思います。選択するのは対象者ではあるかと思いますが、もっと受診率を上げる工夫、病院と連携するなどが必要ではないかと考えました。そのためにも思春期からの女性と保護者、教育現場に対して性や妊娠に対して介入することが長期的な課題であると考えています。	関係課と共有いたします。
	施策 精神保健対策の推進 施策指標で2「川越市自殺死亡率」の基準値が14.5とあるが0とする。 ※基準値の認定に違和感がある。 ※自殺を認めると思われる。あくまで自殺者は出さないとの観点からも。	ご意見を踏まえ、施策シートの「現状と課題」について、下から2つ目を、「本市では令和6年3月に「第二次川越市自殺対策計画」を策定し、」の後に、「『誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現』に向けて」を追記いたします。なお基準値は、厚生労働省集計の「地域における自殺の基礎資料」に基づき、令和6年の自殺死亡率の確定値を設定しておりますので現状どおりといたします。また、目標値は国が令和8年までに自殺死亡率を平成27年（18.5）と比べて30%以上減少（13.0以下）させることを数値目標として設定しており、本市の目標値も国と同値の13.0以下としております。
2. その他	保健医療に関する意識調査報告書を見ての感想です。 （市民の方は）多くの項目について認知度が低くまた利用できる制度を活用していないことがわかりました。 現場でも共有していきたいと思います。身の回りでできることを考えたいと思います。	関係課と共有いたします。